

【資料】 過労死防止学会 第10回大会 開催予定プログラム

[2024年8月31日・9月1日 大阪経済大学・開催予定]

* 台風10号により、「対面開催」から3日間(8/31,9/1,9/23)の「オンライン開催」に変更しました

* 以下は、2日間(8/31,9/1)に、「対面開催」で予定していたプログラムです

□ 日程: 2024年8月31日(土)、9月1日(日) 会場:大阪経済大学 大隅キャンパス

◇ 8月31日(土) 10:00~12:00 分科会

第1分科会:[自由論題]

田中與念子 医師の働き方改革とポスト地域医療構想 (社会福祉士、基礎経済科学研究所所員)

土谷良樹 医師の働き方改革開始後の現状について (東京勤労者医療会 東葛病院 内科部長)

第2分科会:[自由論題]

喜多裕明 社会保険労務士がとりくむ過労死防止活動 ー過労死防止法制定後、10年連続で講演会を開催 (社会保険労務士、大阪府社会保険労務士会安全・衛生自主研究会代表幹事)

佐藤 学 家事労働者過労死問題と取り組みの意義 (総合サポートユニオン)

第3分科会: 航空産業における労働実態と疲労リスク

酒井三枝子 A社 Tさんの労災棄却の問題点と日本の客室乗務員の現状、及び、組合員の増加の教訓 (NPO法人「航空の安全・いのちと人権を守る会」理事長)

奥平 隆 『コロナ禍』以降における、航空労働者の労働実態変化と課題 (NPO法人「航空の安全・いのちと人権を守る会」副理事長)

生井良江 客室乗務員の保安任務遂行に求められる疲労リスク管理 【2024年1月2日羽田事故の教訓から】 (NPO法人「航空の安全・いのちと人権を守る会」理事)

◇ 8月31日(土) 13:00~17:00 特別企画 過労死防止学会活動のこれまでとこれから

座長:長井偉訓 討論者:粥川裕平 黒田兼一

記念講演:川人 博 過労死研究のこれまでとこれから ー原点に立ち戻ってー
パネルディスカッション

天笠 崇 産業医学・公衆衛生学からの過労死研究のこれまでとこれから

工藤祥子 啓発授業10年間の取組みとこれから ー神奈川県を取組を通してー

寺西笑子 “過労死家族の会”と学会活動との関わりについて

脇田 滋 日本を「反面教師」に過労死予防を目指す韓国の動向

高田好章 『過労死防止学会誌』これまで と これから

◇ 9月1日(日) 10:00~12:00 分科会

第4分科会:[自由論題]

寺内宏伸 過労死防止と労働人権法 (労働法論文翻訳者、元労働基準監督官)

粥川裕平 平均的労働者論の誤謬 (かゆかわクリニック・名古屋工業大学名誉教授)

第5分科会: 建設業の労働・労災問題

市村昌利 建設労働問題概要〈問題提起〉 (特定非営利法人建設政策研究所専務理事・駒澤大学講師)

澤田鉄平 建設業のアスベスト問題（桃山学院大学経済学部准教授）

柴田徹平 一人親方の長時間就業と「働き方改革」（岩手県立大学社会福祉学部講師）

第6分科会：「遺族による啓発事業」を通じたアウトリーチと権利行使支援について

嶺山涉 啓発事業の制度概要・運営の実績（厚生労働省労働基準局総務課 過労死等防止対策推進室 過労死等防止係長）

今野晴貴 啓発事業の実態についての分析（NPO法人POSSE代表理事）

安徳晴美 啓発事業の実践経験の報告（福岡過労死を考える家族の会代表）

第7分科会：芸術・芸能分野の過重労働やハラスメントの実態と課題解決の方向性

森崎めぐみ フリーランス芸能従事者の就業実態と人権（俳優、一般社団法人日本芸能従事者協会代表理事）

匿名(被害の当事者) 芸能従事者の過重労働とハラスメントの実態

浅田智穂 芸能制作現場の課題解決のためのインティマシーコーディネーター（インティマシーコーディネーター、株式会社Bianket 代表取締役）

・総合討論登壇者 村上陽子（日本労働組合連合総連合会 副事務局長） 黒田兼一（明治大学名誉教授）

◇ 9月1日（日） 13:00～16:50

共通論題 物流の「2024年問題」と働き方改革の課題～過労死等防止の視点から

座長：清山 玲 討論者：川村雅則 渡部あさみ

松元俊 トラックドライバーの不規則勤務の健康影響と対策の方向性（（独）労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 主任研究員）

岩城穰・井上将宏・中西翔太郎 長距離トラックドライバーの過労死事案の教訓 ～2024年の法規制強化で過労死はなくせるか～（弁護士）

矢野裕児 “物流の2024年問題”をどう捉えるか？トラック運送業の現状と課題（流通経済大学 流通情報学部教授）

芦崎光夫 トラック運転者の「過労死」防止に向けて ―「物流の2024年問題」によせて（全日本建設交運一般労働組合関西支部 特別執行委員）

※第6分科会は、企画者の意向により、オンライン開催参加を取りやめ、後日に延期となりました